



「こんには

# 岸本のり子です

発行 日本共産党

連絡先 日本共産党大津市会議員  
岸本のり子

大津市和邇春日2丁目

ケイタイ 08031163877

2009・7/5 No.73

日本共産党

私たちが食べた中学校給食を  
子どもたちにも食べさせてやりたい！

合併して3年……この間多数の小・中学校の保護者から、給食存続を求める声が多く、志賀中学校のPTAでは今年になって保護者からアンケートをとられました。回答率約90%は関心の深さを示すものです。

5月のPTA総会の説明によると  
給食がやがて廃止されることについては、

「どちらとも言えない、しょうがない」……5%、  
「残してほしい」が95%と存続を願う声が圧倒的。

「親が体験してきた給食を子どもにたべさせてやりたい」

「自校方式に戻してほしい」  
「地産地消の必要性」など

幅広い意見が寄せられていたそうです。



岸本市議は政府の見解として「最近の給食施設  
新增設補助に自校方式が増えており、安全面で単  
独調理方式が見直されていること」

「地産地消モデルタウン事業が実施されている  
こと」

「今年度の追加経済対策では市町村の中で、い  
くつかの小・中学校をモデル校として教室でお米を  
炊くための炊飯器購入補助が盛り込まれているこ  
と」など紹介。

政府の見解、他の自治体とは逆行する大津市の  
学校給食への対応を厳しく糾しました。

「合併協議会で決まったこと」は  
変えられないのでしょうか

今日まで、教育長の中学校給食に関する答弁  
は、「志賀中学校の給食の廃止は合併協議会で決  
まったこと」の一点張り。

「防災無線の放送のJRの運休に関する放送や、  
認定団地での住宅建設ができる期限の延長も、そ  
の必要性と世論の声で復活しています。

今議会における教育長答弁も「合併協議会で決ま  
ったこと」、「今回のPTAのアンケートは知らない」と  
おっしゃいますが、合併協議会で決まったことでも市  
や議会の努力で変えられるのではないのでしょうか。

PTAが行なわれたアンケートの保護者の願いに  
心寄せ、また全国の公立中学校の8割が給食を  
実施し、食育基本法や学校給食法では給食を「学校  
教育の一環」として明確に位置づけていることを受  
け止めていただきたいものです。

## 核兵器のない世界へ！

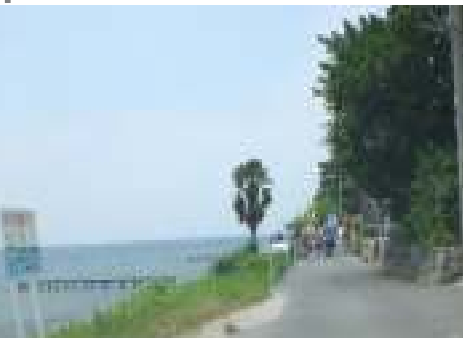
岸本のり子

「核兵器のない世界へ……オバマ米大統領がプラハ  
の演説で言明したことは大きな変化です。そして、こ  
の演説を歓迎し、日本共産党の志位委員長がオバマ  
大統領にあてた書簡と、それに対する米政府からの  
返書が大きな波紋を広げています。

私もこの大きな変化に感動を受け、今年こそは  
と、毎年原水爆禁止世界大会に向けて行なわれる  
「国民平和行進志賀地域連絡会」によるJR北小松駅  
～JR比良駅間の平和行進に参加しました。

びわ湖岸の美しい景  
色にあらためて感動。

子どもたちの未来  
のためにも憲法九条  
を守り、戦争もない、  
核兵器もない世界に  
向けて、少しでも貢献  
しなくてはと決意を  
新たにしています。



# 志賀中学校PTAのアンケート結果でも 「中学校給食を残して欲しい」が95%

6月議会報告  
一般質問 No.